

第1章 市の概要

1 市勢

越谷市は、東京都心から半径 25km 圏内に位置している。昭和 37 年に東武鉄道と地下鉄日比谷線の相互乗り入れが実現すると、人口の増加に拍車がかかり、首都近郊のベッドタウンとしての性格を色濃く持つようになった。その後、J R 武蔵野線の開通、東武鉄道の高架複々線化、道路網や公共下水道などの都市基盤の整備、公共施設の整備も進み、県南東部地域の中核都市として成長してきた。

近年、我が国の総人口は減少に転じ、地方自治体を取り巻く社会経済情勢も急激に変化してきている。このような状況の中、市民と市が協働しながら住みよいまちづくりを進めるため、地方分権の時代にふさわしい、これからの越谷市のまちづくりの基本となる「越谷市自治基本条例」を制定し、平成 21 年 9 月から施行した。

現在、令和 3 年度からスタートした第 5 次越谷市総合振興計画に基づき、本格的な人口減少社会を見据え、「将来にわたり活力ある地域社会の実現」そして「持続可能なまちづくり」という視点に立って市の将来像である「水と緑と太陽に恵まれた みんなが活躍する安全・安心・共生都市」の実現を目指し、市民参加と協働によるまちづくりを進めている。

2 位置と面積

本市は、東西 8.6km、南北 11.5km、面積 60.24 km²の方形をした輪郭を示し、大宮台地と下総台地の間にはさまれた埼玉東部低地帯の一角を占め、土地は丘陵がなく平坦である。周囲は春日部市、さいたま市岩槻区、川口市、草加市、吉川市、松伏町の 5 市 1 町に隣接している。東縁を大落古利根川に、西縁を綾瀬川に挟まれ、中央を元荒川が貫流している。

3 沿革

◇町村合併

昭和 29 年（1954 年）11 月 3 日、埼玉県南埼玉郡桜井村、新方村、増林村、大袋村、荻島村、出羽村、蒲生村、大相模村、越ヶ谷町、大沢町を廃し、その区域をもって越谷町として成立した。

昭和 30 年（1955 年）11 月 3 日、埼玉県北足立郡草加町大字伊原、上谷及び麦塚の区域を南埼玉郡越谷町に編入する。

◇市制施行

昭和 33 年（1958 年）11 月 3 日、人口 48,318 人、埼玉県下 22 番目、全国 543 番目

◇特例市移行

平成 15 年（2003 年）4 月 1 日

◇中核市移行

平成 27 年（2015 年）4 月 1 日

4 人口と世帯数

（各年 4 月 1 日現在）

	世 帯 数	総 人 口			1 世帯 平均人口	人口密度 (1 km ² あたり)
		男	女	計		
令和 5 年	160,965 世帯	170,273 人	173,371 人	343,644 人	2.13 人	5,704 人
令和 6 年	162,337 世帯	169,550 人	173,131 人	342,681 人	2.11 人	5,688 人
令和 7 年	163,985 世帯	169,073 人	172,919 人	341,992 人	2.08 人	5,677 人

※総人口は外国人住民を含んだ住民基本台帳人口

5 年齢3区分別人口の推移

年次	総人口	0～14 歳 (年少人口)		15～64 歳 (生産年齢人口)		65 歳以上 (老年人口)	
昭和 50	195,917	60,982	31.1	127,538	65.1	7,300	3.7
55	223,241	64,984	29.1	147,804	66.2	10,233	4.6
60	253,479	62,394	24.6	177,440	70.0	13,534	5.3
平成 2	285,259	53,529	18.8	212,014	74.3	17,756	6.2
7	298,253	47,639	16.0	226,087	75.8	23,581	7.9
8	297,822	47,292	15.9	226,500	76.1	24,030	8.1
11	305,566	46,380	15.2	229,683	75.2	29,503	9.7
12	308,047	46,280	15.0	230,087	74.7	31,680	10.3
13	309,743	46,180	14.9	229,133	74.0	34,430	11.1
14	311,737	46,151	14.8	228,475	73.3	37,111	11.9
15	314,667	46,389	14.8	228,190	72.5	40,088	12.7
16	316,466	46,325	14.6	227,457	71.9	42,684	13.5
17	317,033	46,077	14.5	225,381	71.1	45,575	14.4
18	317,483	45,823	14.4	222,881	70.2	48,779	15.4
19	319,164	45,737	14.3	220,876	69.2	52,551	16.5
20	320,802	45,868	14.3	219,003	68.3	55,931	17.4
21	323,886	46,011	14.2	218,184	67.4	59,691	18.4
22	326,881	46,092	14.1	218,191	66.7	62,598	19.2
23	328,749	45,992	14.0	218,563	66.5	64,194	19.5
24	329,712	45,646	13.8	216,898	65.8	67,168	20.4
25	330,428	45,341	13.7	213,820	64.7	71,267	21.6
26	332,745	45,235	13.6	212,868	64.0	74,642	22.4
27	334,693	45,127	13.5	211,827	63.3	77,739	23.2
28	337,181	45,123	13.4	211,659	62.8	80,399	23.8
29	339,677	45,128	13.3	212,251	62.5	82,298	24.2
30	341,095	44,758	13.1	212,168	62.2	84,169	24.7
31	343,383	44,603	13.0	213,472	62.2	85,308	24.8
令和 2	344,682	44,247	12.8	213,914	62.1	86,521	25.1
3	345,487	43,742	12.7	214,349	62.0	87,396	25.3
4	344,674	43,097	12.5	213,718	62.0	87,859	25.5
5	343,644	42,071	12.2	213,853	62.2	87,720	25.5
6	342,681	40,957	12.0	213,731	62.4	87,993	25.7
7	341,992	39,967	11.7	214,258	62.7	87,767	25.7

資料：平成7年までは国勢調査、平成8年からは4月1日現在の総人口。

なお、構成比は年齢3区分別人口の合計から算出（国勢調査の年齢不詳数値は除く）